



## 回復期病棟関連の QI 指標

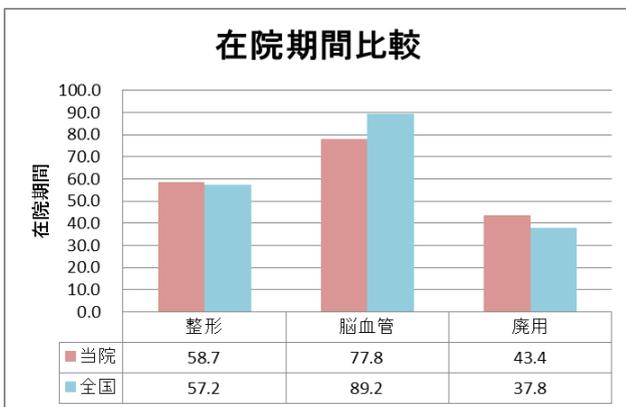
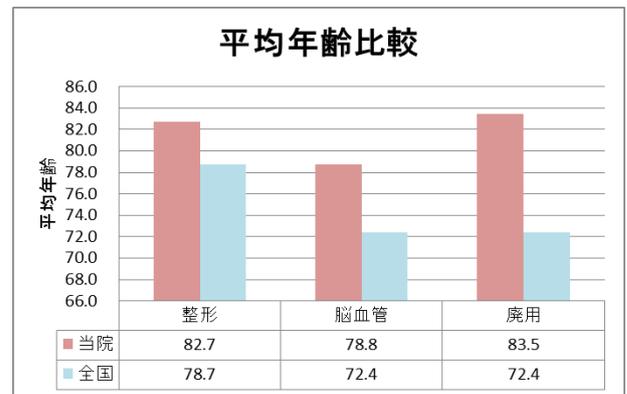
当院では 2014 年 10 月より回復期リハビリテーション病棟 44 床を開設致しました。

今回は回復期リハビリテーション病棟の現状を評価するため、2014 年 10 月～2015 年 6 月のデータをもとに統計を行っております。

### <疾患別平均年齢>

当院の回復期リハ病棟の患者の平均年齢は一般病床同様、全国と比較して高いことがわかります。

この高年齢が、FIM 利得等で好結果が得られにくい一つの要因になっているものと考えられます。



### <在院期間>

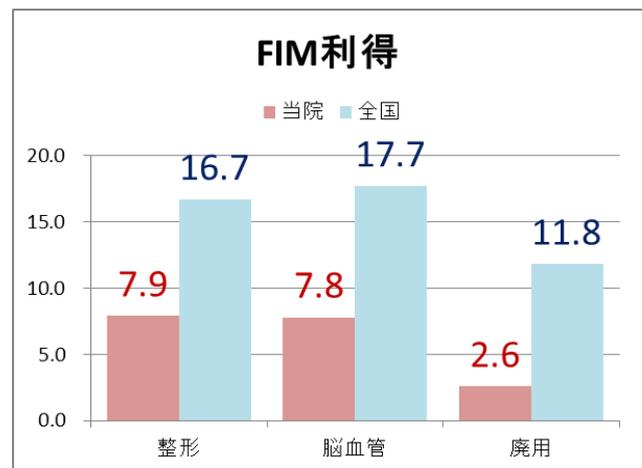
当院の平均在院日数はどの疾患においても全国平均よりも早期に退院しております。

特に、脳血管疾患と廃用症候群においては大きな差がありました。

### <FIM利得>

FIMとは患者の生活機能動作について運動13項目、認知5項目を各項目7点で評価した数値です。

当院の回復期リハ患者のFIM利得（入院から退院までに上がったFIM点数量）は、全国平均と比較して、低くなっています。



要因のひとつとして平均年齢が高く、リハビリ効率が上がりにくい事があげられます。

また、2015年までは日曜・祝日のリハビリが無かった為に、リハビリ提供量が少なかった事もあげられます。日曜・祝日のリハビリについては2016年度より365日リハビリを開始致しました。

今後も患者のリハ効果向上に努めてまいります。

### <回復期病棟退院患者の在宅復帰率>

当院の在宅復帰患者は全国平均よりもやや高い75.4%でした。今後更なる在宅復帰率の向上を目指してゆきます。

